

地域資源 全国展開プロジェクト

桐生の産業観光・ノコギリ屋根工場と近代化産業遺産

ノコギリ屋根博覧会の開催について

桐生市の地域資源として大きな特徴のあるもののひとつに近代化遺産と呼ばれる建物群があります。それらは、桐生の地場産業の近代化、あるいは日本の近代化の足跡を示すものでもあります。

そのなかでも、織物製造の現場として街の繁栄を支えてきたのが「ノコギリ屋根工場」です。ノコギリの歯のような屋根が連続する特異な形態の工場建築物で、桐生市内に約220棟が存在し、日本一の数を誇ります。

この地域固有の資源であるノコギリ屋根工場では、現在、織物業が現役で操業されているほか、アーティストやクリエイターの工房や美容院、博物館など全く新しい形の活用が増え始めています。“ものづくり”の精神が宿る工場から、新たな息吹を感じさせる活動が始まっており、これらの動きを産業観光を切り口として全国に発信していくことは内発型の地域振興に大きな可能性をもたらすものと考えます。

このような観点から、現在、桐生のノコギリ屋根工場から生み出されている数々のものづくり製品や創作品、新しい活用事例などを一堂に集めて展示いたしました。

桐生のノコギリ屋根工場の特徴ある景観、ポテンシャルの高さと可能性を今回の博覧会で多くの方に感じ取っていただければ幸いです。

桐生商工会議所 産業観光推進会議

